

前へ

枝宿中学校だより
文責：都々木

今年度の始業式と入学式は、同日にダブルヘッドで行いました。授業時数の確保のためとは言え、お弁当の用意の手間をお掛けしました。
校長式辞の要約を掲載いたします。

平成三十一年度 始業式

「変わる」ためのヒント「何か私にでもできることではないか」と考え、こつこつ続けていくこと。
朝に、「今日、何か私にでもできることはないか」と考え、夕に、「今日、私にでもできる何かをしたか」と振り返ること。これが『変わる』ための第一歩。

平成三十一年度 入学式

「時間」とは「変化」すること。変化の無いところでは時間は停止する。変化しようとする事は、自分の時間が停まっているということ。変わることは、苦しみや痛みを伴うこともあるが、恐れず勇気を持って飛び込まなければならない。

人の価値や輝く個性に順位をつけることはできない。互いを認め合い、尊重し合うことは当然のこと。そのような場所には、いじめも差別も存在するはずがない。学校とはそういう場所ではなくてはならない。



中庭の桜。満開です！

【キーワード】は、
「変わる」「変える」

生徒も、職員も、学校も
みいゝんな変わろう！

転入職員

職名	氏名	教科等	担当
教頭	高比良 尚	保体	
教諭	藤原 利基	社会	2年副担
教諭	深町 晋吾	英語	1年副担
教諭	久保 智美	音楽	1A担任
教諭	笹山 義徳	初任研	
校務員	江頭 信男		
支援員	戸野本江利子	支援	

☆久保智美先生は新規採用されました。

留任職員

職名	氏名	教科等	担当
校長	都々木 信幸	保体	
教諭	田端 敏枝	保体	2B担任
教諭	長尾 修介	理科	教務主任
教諭	野原 真美	国語	3年副担
教諭	森田 祥吾	技・家	2A担任
教諭	大久保慎太郎	保体	1年副担
教諭	大川 哲司	数学	3A担任

事務	岩松 大樹	事務室
養護	出口 みなみ	保健室
		2年所属

☆ 出口みなみ先生は復職されました。
この外、非常勤職員で、美術の本間直子先生、カウンセラーの鴨川仁人先生。ALTのバトリック先生も勤務され、総勢16名です。

4月 行事予定

- 八日(月) 着任式 始業式 入学式
- 十一日(木) 歓迎遠足 ※雨天校内実施
- 十三日(土) バレー春季大会
- 十八日(木) 野球五島選手権(上五島) 〓十四日 家庭訪問 〓二十六日
- 二〇日(土) バスケ春季大会
- 二一日(日) PTA 部活動振興会総会
- 二二日(月) 振替休業日
- 二七日(土) 〓五月六日(月) 十連休!

(雑感) 始業式で清家直子の話をした。直子は全身関節炎で十年以上寝たきり。自由に動かせるのは左手の親指のみ。医者から見放され、直子も自分を見捨てていたが、ある日ふと考えた。「なにかわたしにでもできることはないか」▼直子は本を点字に点訳することを始めた。こつこつ、何年も。点訳した本が百冊を越え、多くの光を失った人たちに光を与えることができるようになった頃、人差し指も動くようになっていた▼右手も少しずつ動くようになり、一人きりで寝ていた彼女に、手紙が来るようになり、訪ねて来る人ができ、寝返りもできなかったのにベッドで起き上がれるようになり、あったかい日には、ころころ転がって座敷まで出ることができるようになった▼「なにかわたしにでもできることはないか」と考え、こつこつ続けた小さなことが、直子の人生を大きく変えた。